

「道徳」学習指導案

担当教員 \_\_\_\_\_

実習生 \_\_\_\_\_

- ・学級 〇年〇組
- ・日時 平成△年△月△日(△曜日)第△時限
- ・主題名 目標に向かってやり抜く強い意志 (学習指導要領の内容項目: 1-(2))
- ・資料・教材 『改訂新版 中学生の道徳② 自分も考える』(あかつき) 23「人間であることの美しさ」(原典は朝日新聞社)
- ・価値観 派手な勝利やカッコよさに気をとられがちな年代の中学生には、とりわけ、カッコよくなくても地味であってもひたむきに努力する強い意志の大切さを感じてほしい。
- ・生徒観 このクラスの生徒たちは、スポーツの部活をしている者も多いが、地味な努力を続けるという点は概して不十分である。スポーツ以外の勉強や作業についてはなまさらである。
- ・資料観 アンデルセン選手が倒れそうになりながらもゴールへとたどりついたというがんばりな姿は、オリンピックのマラソンを生徒もよく知っているだけに、感動を共感しやすであろう。
- ・ねらい 優勝やメダルをとらなくても、目標をやり遂げる強い意志のすばらしさを感じさせる。

学習指導過程 (大要)

|    | 学習活動 (教師の発問、予想される生徒の反応など)  | 指導上の留意点   |
|----|--|---|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 前回、前々回、次回のオリンピック開催地を問う。<br/>・モスクワ ・アテネ ・ロンドン ・リオデジャネイロ</li> <li>★ オリンピック(夏・秋季)で好きな種目と理由を問う。</li> <li>★ 等入の最後にアンデルセン選手のゴール前の写真を掲示し、そのおと教材を配布。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京オリンピックにも言及する。<br/>(1964年)<br/>(2020年)</li> <li>・ 何人かに答えさせて、マラソンがなぜ人々を引きつけるのかを考えた。</li> </ul> |
| 展開 | <p>教師が本文の全体を音読したあと、本文の内容について問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 意識もはきりしないような状態でアンデルセン選手がゴールへと向かい続けたのはなぜだと思うか。<br/>・ オリンピックに向けての長い練習を思い、何とか完走したいという気持ち。</li> <li>★ 「スタンドも、拍手がうずめていた」ときの観客はどんな気持ちか。<br/>・ もうすこした、がんばり。<br/>・ 倒れそうだが、たいじようぶかな。</li> <li>★ 筆者はアンデルセン選手のゴールをどう思っているか。<br/>・ 「自らに誓い、それを果たしていく強い意志」が美しいと思っている。<br/>・ スポーツや生命について考え、話し合う機会を与える。</li> </ul> <p>各生徒に自分の考えを問う質問をある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ アンデルセン選手のゴールをどう思うか。</li> <li>★ スポーツをすることの意味は何か。・楽しみ・勝利・<u>がんばり</u>など。</li> <li>★ きみ自身は、物事をやり遂げようとがんばる経験があるか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最初にロス五輪の開催年総にも言及する。(1984年)</li> <li>・ 優勝やメダルだけがオリンピック出場の意味ではないことを感じとらせる。</li> </ul>            |
| 終末 | <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 教師の説話でしめくくる。たぬきカーブの衣笠祥雄選手の連続試合出場記録の話や「キューブですよ」(TBSテレビ)に出てくる料理人見習中の若者のがんばり、などを話す。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツの話を入りつつも、がんばりの大切さはそのほかの勉強や仕事でも同じだということも理解できるようにする。</li> </ul>                              |

- ・ 評価の観点 目標をやり遂げる強い意志のすばらしさを感じることができたか。